Japan Rolling Shutters & Doors Association's Bulletin

JSDA SE



2014 年·新春号

2014年新年賀詞交歓会 一般社団法人日本シヤッター・ドア協会

上)樽酒による鏡開きが行われた今年の新年賀詞交歓会中)新年賀詞交歓会での乾杯と懇親会の様子

\frown		17			\Box (7
						-
		1				. 1

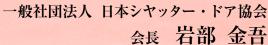
特別寄稿
年頭所感 2
NEWS 3 - ・会員会社で「鞴祭」が執り行われる
持集
スポットライト 7 新たに2つのプロジェクトチームが発足 ・製品安全普及事業検討プロジェクト チーム ・浸水防止用設備検討プロジェクトチーム
シリーズ
教授 河野 守 教養 教養 対野 守 の
総務委員会だより9
データ 10

一般社団法人 日本シヤッター・ドア協会

年頭所感

2014年 (平成 26年)

年頭ごあいさつ





明けましておめでとうございます。

旧年中は格別の御高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。 さて、昨年は政府による経済対策や日銀の金融緩和策等 により、円高が修正され株価も上昇するなど、景気回復が 鮮明となってまいりました。

また、建設市場においても住宅、非住宅着工とも持ち直 しがみられ、当協会の会員を取り巻く環境も、総じて改善 基調に転じている状況です。

こうした中で当協会は、昨年も引き続きシャッター・ドアのストック対策を中心に取り組んでまいりました。点検法制化の推進に加え、既設のシャッター・ドアの安全性を確保するため「製品安全普及事業検討委員会」(座長: 菅原進一東京理科大学教授)を設置(平成24年度)し、建物管理者における適切な操作や維持管理の方法、製品の耐用年数(回数)に関する基準等の検討を行い、昨年6月に報告書をまとめたところです。

一方、シャッター・ドアの保守点検に関連して実施している「防火シャッター・ドア保守点検専門技術者」については、昨年も全国で講習会を開催し、現在 6,265 名の資格者を認定しています。また、製品の品質を確保するためには施工技術が重要であることから「シャッター・ドア施工専門技術者」の資格制度を一昨年にスタートさせ、現在523 名の資格者を認定しています。

この他、環境問題への対応として、窓シャッターにおける遮熱性能や断熱性能など省エネルギー性に関する検討を 行ってまいりました。 さて、新しい年を迎えましたが、本年も増大するストック市場におけるシャッター・ドアの安全性の確保については、積極的に取り組んでまいります。

とくに保守点検については、防火シャッター・ドアに加えて、日常的に開閉使用されている管理用シャッターについても、安全装置(障害物感知装置)の普及を含め、定期点検制度の促進に力を注いでまいります。

また、近年、異常気象によるゲリラ豪雨が増加しておりますが、当協会としては防災事業の一環として浸水防止用設備に関する検討を開始することといたしました。

会員各社においても各種の浸水防止用設備を手掛け始めており、国土交通省では平成26年度税制改正の中で、浸水想定区域内の地下街等に浸水防止装置を設置する場合は、固定資産税を軽減する特例措置を講ずることとするなど、この対策への取り組みが積極的になっています。

一方、現在、建設業界においては社会保険未加入問題が大きなテーマとなっておりますが、当協会においても法定福利費を別枠計上する標準見積書の活用など、昨年9月の第3回社会保険未加入対策協議会の申し合わせを受けて対応に取り組んでいるところです。

本年は景気回復の一方、原材料の高騰や4月からの消費 税率の引き上げなど懸念材料もありますが、当協会として は引き続き安全・安心の推進や諸課題の対策に取り組み、 これからも社会に貢献できるよう努力してまいります。

本年も皆様からの変わらぬご支援の程、よろしくお願い 申し上げます。

特別寄稿

環境配慮の先にあるもの

株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所 取締役設計本部長 東京プロジェクト部長 石橋 裕之



CASBEE (建築環境総合性能評価システム) による初の 認定物件がでてからまだ 10 年も経っていないが、事実上 様々な環境配慮が義務づけられている現在とはもはや隔世 の感がある。

この数年の建築環境に対する意識と技術の発展はめざましいものがある。照明の全館 LED 化はもはや当たり前となっているし、昼光センサーや人感センサーによる照明制御、屋上・壁面緑化、太陽光発電、風力発電、リサイクル材料やエコ材料の使用など、もはや定番すぎてあえて環境配慮というのがためらわれるほどである。

社会に目を向ければ、ハイブリッド車が登場してから 16年が過ぎた今、車はその動力性能ではなく最先端のエコ技術でしのぎを削る。発電技術も多様化し、風力発電や太陽光発電はもちろん、小口消費者向けにも小型水力発電、バイオマス発電、小型コジェネなども導入され、地域 でエネルギーを作り出すことも可能になった。

もちろんこの背景には3.11東日本大震災の影響がある。 福島原発の被災による経験を通じて我々がいかに電気に頼る生活をしていたかを思い知った。これをきっかけに、エネルギーを誰かに依存する生活に対する不安や疑問を持つ 人が増えてきたのだ。

建築の世界においても、環境配慮という枠を超えて、環境と生活のかかわりから考えていかなければならない時代になるのだろう。

IT 技術を活用したスマートシティの推進がある一方で、エネルギーを中央だけに依存しない、地域の特性を生かした(逆手に取った)資源循環型の地域活性化が注目されているとも聞く。環境意識を再構築し、これまでの市場経済の価値とは違った価値で軽やかに動き始めた人たちがすでに出てきている。

NEWS

会員会社で「鞴祭」が執り行われる

千葉県柏市にある BX 鐵矢株式会社 (第二種会員) で 昨年 11 月 8 日、「鞴(ふいご)祭」が執り行われ、当 協会から後藤常任理事、沖村専務理事、長嶋事務局長ら が出席しました。

この祭事は、金属の製鉄や加工に欠かせない火をおこすための道具「鞴 (ふいご)」を用いる鍛冶屋、刀工、



▲神事で祝詞を奏上する諏訪神社の宮司

鋳物師らが、旧暦の11月8日に鞴を清め、火の神に感謝して安全を祈願する伝統的な行事で、別名「たたら祭り」とも言われています。

当協会の会員会社が取り扱うシャッターやドアは、主に"鉄"を加工して製造されています。そこで、鍛造の原点を学ぶには BX 鐵矢株式会社が毎年実施している「鞴祭」という伝統の火を絶やしてはならないとして、今回の参加が実現したものです。



▲熱せられた金属棒を鍛造する様子



2014年

新年賀詞交歓会が開催される

東京・千代田区のグランドアーク半蔵門において、さる1月23日、定例理事会とあわせて恒例の新年賀詞交歓会が開催された。

新年賀詞交歓会の会場となった 3 階「光の間」には、来賓、会員、マスコミ関係者をあわせた約 180 名が参集。 17 時 50 分に長嶋事務局長の司会で開宴が宣言され、政務ご多忙の折駆けつけていただいた太田昭弘・国土交通

大臣より祝辞を賜った。その後、岩部会長より新年の挨拶が行われ、続いて、田中和徳・自由民主党政務調査会副会長、平将明・自由民主党副幹事長から祝辞をいただいた。今回は岩部会長の肝いりで、来賓と協会役員による鏡開きが行われた後、上枝副会長の乾杯の発声により歓談に移った。宴もたけなわの中、新年の会にちなみ、会場の年男に岩部会長から開運のお札(神田明神・勝守)が贈られた。

会は19時30分、後藤常任理事により中締めが行われ、終始和やかな雰囲気の中、今年の賀詞交歓会はお開きとなった。



ごあいさつ

■太田昭宏・国土交通大臣

日本シヤッター・ドア協会の新年会へは毎回出席させていただいており、心から皆様方に感謝申し上げる。昨年はとにかく景気、経済をよくすることに集中的に取り組んできたが、かなり成果があったといえる。今年は、ヒトとモノの動きを、しっかり現場、企業、地方に実感していただけるような年にするということが大切だと考えている。また、もうひとつ重要なこととして、防災・減災など国民の安全を守るということ。それらについて私は責任をもって管轄する立場にあるが、経済成長といい、建物を安全なものにすることといい、皆様のご尽力なくしては出来ないことである。この一年は、「景気、経済が良くなったという実感を得られる年」、「未来の安全・安心のための取り組みをスタートする年」だと思っている。皆様と共に、日本は前進してきたなと言われるような年にしたい。



■田中和徳・自由民主党政務調査会副会長兼事務局長

長年にわたり皆様にはご厚誼いただき、感謝している。

さて、数字的にみても全ての面でよくなってきている。国民の所得、企業の売上利益はアベノミクスの3本の矢として大変重要である。現在、党の政務調査副会長として国会提出案件の事前審査責任を持つひとりだが、シャッター・ドアの保守管理についても、各方面で現在準備しているようである。以前から、業界の要望や国民の声として保守管理の法制化を求めてきたが、いよいよという段階になってきた。安全な製品を作ることと、日々の適切な維持管理はセットであると考えている。

また、自然災害への問題に対しても対応ができるということは国民にとって力強いことである。この分野でもぜひお力を発揮していただければと思っている。



■平将明・自由民主党副幹事長兼情報調査局長

毎回お呼びいただき感謝している。アベノミクスは、実際に政策を作ってきた側からすると、思いのほかうまくいったと考えている。東京証券取引所の時価総額はわずか1年で200兆円増えた。この余力は新たな投資、消費にまわり、年金の評価損もかなり解消された。

今後の課題としては、成長戦略、つまり自由貿易・規制改革・民営化であるが、民営化に関してはほぼ終わった。自由貿易は TPP を軸として取り組んでおり、規制改革は岩盤規制に対する突破口として国家戦略特区を設けて取り組んでいく。消費増税等様々な課題があるが、アベノミクスを成功させるためには、民間の皆さんがやる気を出し、積極的に事業展開をすることが不可欠である。



■岩部金吾会長

お忙しい中、太田大臣をはじめ議員の皆様や来賓の方々、また沢山の方々にお越しいただき、御礼を申し上げます。人生は出会いである。出会いを大切にすることがご縁につながる。これからもご縁を大切にしていきたい。

今年は皆様よいお正月を過ごされたのではないだろうか。アベノミクスの効果か、経済状況も良くなってきていると思う。3本の矢のうち2本の矢はうまくいっていると思っている。資産価値も株も上昇し、円高も是正された。あと1本の"成長"の矢はまだこれからといったところか。重量シャッターと軽量シャッターの出荷はリーマンショック前の水準に戻り、各社の業績面ではっきりあらわれてきている。シャッターもドアも受注は好調で、施工が追いつかないという状況になっている。

こうした環境の中、長年取り組んでいるシャッターの保守点検の法制化についても、いよいよ前進していくことをぜひ期待したい。

さらに、"水"への対策の問題。当協会でも"浸水防止用設備"と名称を統一し、シャッター・ドアだけではなく、システムとしてゲリラ豪雨への対策に取り組んでいきたい。協会で連帯感をもって、良い年にしていきましょう。



2014年 新年賀詞交歓会が開催される

乾杯のご発声

■上枝一郎・副会長

アベノミクスが着実に展開されており、それなりの手ごたえを感じているが、施工技術者の高齢化と減少、原材料の変動等懸念は尽きず、足もとは不安定。 福岡の診療所火災の痛ましい事故もあり、製品の維持管理、保全についてまだまだ注力すべきことが沢山あると痛切に感じている。

今年は午年。旅立ちに際して、「はなむけ」という言葉があるが、これは、旅立つ際に馬の鼻を行き先の方向に向けた習慣が由来であるとのこと。当協会も、 やるべきことに向かって、かじをきってしっかり走っていく年にしたい。



中締めのあいさつ

■後藤忠義・常任理事

当協会もアベノミクスにあやかり、曰く"イワベノミクス"で3つの矢を皆で考えていく年にしたい。日本シヤッター・ドア協会は様々な業種、産業で成り立っている。とくにシャッター会社は、ある意味アッセンブリー企業であり、自動車会社と似たようなところがある。ピラミッド構造があって、その中で様々な会社や人が努力・工夫しながら携わっている。そういう構図を理解しながら、今年も一緒に頑張っていきましょう。







▲年男に「勝守」を贈る岩部会長



▲後藤常任理事の一本締めで中締めが行われた

スポットライト

新たに2つのプロジェクトチームが発足! ~取り組み内容とメンバーを紹介~

■製品安全普及事業検討プロジェクトチーム

<取り組み内容>

- ・製品安全普及事業については、平成25年6月に「シャッター・ドアの安全確保と維持管理に関する指針(試案)」を含む報告書がまとめられた。
- ・平成 25 年度はこれらを踏まえ、安全性と維持管理の普及のため、有効な普及促進の方法について検討する実務者を中心とするプロジェクトチームを設置した。
- ・主な検討項目は、ビルオーナーやユーザーに対し、シャッター・ドアの安全確保と維持管理に必要なツールについて検討する。具体的には「シャッター・ドアの安全確保と維持管理の指針」「メンテナンスガイド」「安全ガイドブック」等のツールの内容について検討している。

<メンバー紹介>

リーダー益子隆雄 (文化シヤッター)サブリーダー中内勝也 (三和シヤッター工業)メンバー岩崎文男 (文化シヤッター)大久保雄史 (東洋シヤッター)松本美代子 (LIXIL 鈴木シャッター)

佐々木正章(小俣シャッター工業) 堀井 崇(田中サッシュ工業)



益子リーダー

■浸水防止用設備検討プロジェクトチーム

< 設置背景 >

- ・近年、異常気象によるゲリラ豪雨が全国規模で増加している中、協会が推し進める防災事業の一環として、浸水防止用設備に関する検討を開始することとした。
- ・国土交通省は平成 26 年度税制改正の中で、浸水想定区域内の地下街等に浸水防止装置を設置する場合、固定資産税を軽減する特例措置を講じることとしている。

<取り組み内容>

・協会における浸水防止用設備の性能、機能、仕様等に関するガイドラインを作成する。

<メンバー紹介>

リーダー 大場 広敦 (LIXIL 鈴木シャッター) サブリーダー 鈴木松三郎 (文化シヤッター) メンバー 伊藤 正人 (小俣シャッター工業) 細山 健二 (三和シヤッター工業) 堀井 崇 (田中サッシュ工業) 黒川 貴光 (田中サッシュ工業)

築山 清一(東洋シヤッター)



大場リーダー

シリーズ

第1回

これからの 防災設備のあり方

東京理科大学工学部第二部建築学科 教授 河野 守



「防火シャッターや防火戸のような防災設備は、建築物 を構成する重要な要素である。」に異議を唱える人はおそ らく居ないと思います。では、どうして重要なのかを十分 考えている人は多いでしょうか。漠然と火災時の安全性に 不可欠な物とは思いながらも、では、どんなものがどの程 度必要なのか深く考えることはあるでしょうか。建築物の 安全性は構造的な耐震性であっても、基準(建築基準法に 代表される規制基準等)を満たせば良いというのが、少し 前までの一般的な考え方でした。ここではそれを相場と表 現しておきます。多くの建築物の場合、耐震性は構造計算 を伴い、基・規準が意図している背景や計算式の成り立ち などの詳細はともかくも、曲がりなりにも必要な入力レベ ルに対して許容される振る舞いがあって、それを定量的に 確認する手立てが用意されています。それに対して、防災 設備を含めた火災安全対策の場合には、法律が要求するか ら付けるというのが相場になってきたのではないでしょう か。

その一方で、このような基準を満たせさえすればよいとする考え方は、後に述べるような、本来考えるべき本質的なことを詮索しないことにつながります。その結果、寄って立たれる側の基準はそのような相場感で実際の建築物が出来ていたとしても安全を達成しようとして、災害や事故で安全性に問題が起こるたびに、屋上屋を架したり、接木に接木を重ねるようなことをせざるを得なくなり、非常に複雑な基準になりがちです。

最近、ビジネスの世界ではステークホルダー (stakeholders) という言葉がしばしば使われます。利害 関係者と置き換えられる場合もありますが、利害という言



図 1 従来型のステークホルダー

葉がどうも損得という短絡的なイメージがあるため、本来 この言葉の持つ概念を表しきれていないため、ステークホ ルダーのまま使われることの方が多いようです。建築物を 設計・生産することには、当然ながら、ステークホルダー がいるわけです。何かを決めるためにはステークホルダー 間の合意が必要となりますから、ステークホルダーが多い ほど手間と時間がかかることになります。図1は、従来 の相場であった「基準さえ満たせばよい」場合のステーク ホルダーを示したものです。まず、施主の考え方を聞くの は当然ですが、ここも「基準さえ満たせばよい」のであれ ば敢えて聞くまでもないかもしれません。後は建築の専門 家としての設計者、施工者との合意、さらに基準に適合し ていることを建築主事に確認してもらえれば完了でしょ う。このようにかなり限定された狭い範囲の者の意見を集 約すれば事足りたのです(やや乱暴な言い方ではあります が)。

世の中は、しかし、このような旧態依然とした規制にお んぶに抱っこを続けることから脱却し始めています。そこ では、「何のために」と「どの程度」を明確に問いながら、 建築物をつくることを目指しています。あるレベルの地 震(「どの程度」)を想定するのは「何のため」、それに対 して例えば非構造・設備を支える床の応答加速度を○○ガ ル(「どの程度」)以下に抑えるのは「何のため」を明確に した上で、必要となる構造物や非構造・設備の取り付け方 を決めていくというものです。「何のため」の候補は、人 命保護、財産保護、機能維持などが通常挙げられますが、 それをどれにするか、またどの程度にするかはステークホ ルダーの合意によります。この場合、もはや図1のよう な限られた者がステークホルダーでは済まず、これらの者 に加えて、利用者(貸しビルであれば将来のテナント等)、 銀行や投資家 (建築事業への資金提供者)、保険業者、場 合によっては周辺にいる者を含めた幅広い者による合意・ 了解という行為によってはじめて建築物が存在し得ること になります (図2)。

防災設備が建築物の安全に関係する重要な要素である以上、これらもまた新しい「何のため」「どの程度」を明確にするやり方に変わっていかざるを得ないと思われます。このシリーズでは、その方向性について少し掘り下げて考えていこうと思います。



図2 今後のステークホルダー

第15回「健康保険の被扶養者について」

健康保険においては、被保険者(従業員・本人)と被扶 養者(家族)が保険給付の対象となりますが、被扶養者 (家族)になれる人となれない人がいます。

そこで、どのような場合に該当するかについて、Q&A 方式で解説していきます。

Q1 被扶養者として認められるにはどのような条件が あるのですか?

A 被保険者と同様に保険給付を受けられる被扶養者は、健康保険法等によって定められた家族が対象となります。被扶養者として認定されるには、"主として被保険者の収入により生計を維持されていること"が必要となります。これは、認定対象者の生活費の半分以上を被保険者の収入によって賄われている状態をいい、被保険者との世帯関係、被扶養者の収入基準などにも該当することが条件となります。

Q2 子供が誕生したのですが、被扶養者にするために はどのような手続きが必要ですか?

A 扶養者異動(増)届を、事業主を経由して保険者 (健康保険組合等)に提出すると、健康保険被保険者 証の被扶養者欄にお子さんの名前が記載されます。なお、カード式(各人1枚)の場合は、新たに(お子さんの)被扶養者証が発行されます。

Q3 事情があって甥の生活の面倒を見ていますが、 被扶養者になれますか?

A 被扶養者の条件として、配偶者、子、孫、父母、祖 父母等の直系尊属以外の兄弟姉妹、甥姪、配偶者の 父母等は、同居が必要となります。また、対象者の年間収 入が130万円(60歳以上の場合は180万円)未満で、原 則として被保険者の年収の半分未満であることが必要です。

Q4 パートとして従事している妻の健康保険が、勤務時間や収入増の理由により、勤務先で健康保険の被保険者になると言われました。しかし、いつ退職するかわからないので、従来通りの被扶養者にしておこうと思っています。



A 奥様が勤務先で健康保険の被保険者になった場合は、被扶養者異動(減)届を、事業主を経由して速やかに保険者(健康保険組合等)に提出しください。少し難しくなりますが、奥様は健康保険の被保険者すなわち厚生年金保険の被保険者となり、いわゆる専業主婦扱い(国民年金3号被保険者…保険料免除)に該当しなくなります。ここで正しい届出をしていないと、退職(厚生年金保険の被保険者資格喪失)時に国民年金3号被保険者該当届がスムーズに提出できなくなる場合があります。

Q5 被扶養者になっている母親が先日、死去しました。 保険証を返却すればよろしいですか?

A 被扶養者異動(減)届に被保険者証(カード式の場合は、被扶養者証)を添え、事業主を経由して保険者(健康保険組合等)に提出しください。また、埋葬料(5万円)を請求できますので、人事担当者に相談してください。

Q6 被扶養者が多い被保険者は、被扶養者がいない人に比べ医療費をたくさん使うことになるので保険料が高くなるかと思うのですが、どのように計算されるのですか?

保険料は、被扶養者の数には関係ありません。給料 (通勤費含む) や賞与に健康保険料率を掛けることで 保険料が決まります。

Q7 健康保険の被扶養者になるためには、年末調整の 扶養親族に該当しなければならないのですか?

所得税法に基づく扶養親族と健康保険の被扶養者は別です。年末調整において扶養親族に該当しなくても、健康保険の被扶養者に該当する場合があります。

(例:年末調整では扶養親族の年間所得38万円(給与所得103万円)で判断、健康保険では年間収入が130万円(60歳以上の場合は180万円)で判断します)



■過去1年間出荷推移 < シャッター>

(㎡、前年比・電動化率%)

	H25.1 月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
重量シャッター	67,444	86,298	84,659	73,638	94,013	90,254	116,851	97,528	103,230	109,548	107,527	93,800
前年比	-2.6	7.4	10.3	0.3	34.6	20.6	42.3	6.9	16.9	14.8	11.4	12.9
軽量シャッター	132,565	146,502	177,343	201,401	199,097	180,199	203,019	170,309	185,968	230,305	210,636	191,277
前年比	1.3	-1.3	10.6	-11.8	-6.6	-10.2	0.0	-6.2	4.3	6.6	0.7	3.3
電動化率	26.8	26.9	25.1	23.2	24.7	25.4	27.1	26.5	26.6	24.4	24.9	27.8
グリルシャッター	3,898	3,463	4,700	4,436	4,453	4,435	4,817	4,198	4,641	5,305	4,949	5,263
前年比	-10.5	-35.0	-7.8	10.2	7.7	10.3	12.3	0.5	21.7	-4.3	-17.4	2.3
オーバーヘッドドア	17,341	20,341	22,831	21,462	22,977	18,753	23,060	18,497	22,614	24,903	28,996	22,197
前年比	16.8	20.6	32.8	43.9	55.3	24.1	16.9	-5.4	23.7	9.4	34.6	15.6
合計	221,248	256,604	289,533	300,937	320,540	293,641	347,747	290,532	316,453	370,061	352,108	312,537
前年比	0.9	2.2	11.7	-6.2	6.2	-0.3	12.5	-2.0	9.6	8.9	5.7	6.9

< ドア > (枚、前年比%)

	H25.1 月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
鋼製重量ドア	42,251	39,647	44,529	27,881	29,919	37,748	35,566	33,892	40,401	36,666	42,275	39,026
前年比	4.1	-8.2	-5.9	-14.9	-8.2	9.4	-2.6		2.1	-18.1	-6.9	-2.6
鋼製軽量ドア	39,925	39,199	34,828	22,966	25,163	26,369	28,750	29,435	34,378	37,538	40,867	42,078
前年比	8.2	-14.6	-12.6	-7.7	-14.2	-17.0	0.4	2.9	-2.9	-4.9	-5.8	4.3

■年度別出荷推移 < シャッター >

(㎡、前年比・電動化率 %)

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
重量シャッター	1,097,308	1,208,205	1,328,258	1,480,370	1,494,399	1,534,537	1,436,147	1,365,508	839,568	839,415	875,978	993,232
前年比	-26.5	10.1	9.9	11.5	0.9	2.7	-6.4	-4.9	-38.5	-0.0	4.4	13.4
軽量シャッター	3,333,097	3,190,771	3,038,800	3,473,445	2,935,834	2,871,880	2,488,705	2,175,375	1,972,917	1,915,847	2,039,568	2,271,832
前年比	-4.4	-4.3	-4.8	14.3	-15.5	-2.2	-13.3	-12.6	-9.3	-2.9	6.5	11.4
電動化率	22.5	23.2	24.0	24.1	25.1	26.2	26.3	25.4	24.5	26.2	24.5	24.0
グリルシャッター	103,625	101,043	96,616	100,736	100,244	90,630	79,124	61,751	54,719	52,483	55,410	53,207
前年比	-9.7	-2.5	-4.4	4.3	-0.5	-9.6	-12.7	-22.0	-11.4	-4.1	5.6	-4.0
オーバーヘッドドア	303,293	299,460	285,952	323,150	297,659	289,307	240,523	217,932	174,936	178,341	204,003	226,406
前年比	-11.8	-1.3	-4.5	13.0	-7.9	-2.8	-16.9	-9.4	-19.7	1.9	14.4	11.0
合計	4,837,323	4,799,479	4,749,626	5,377,701	4,828,136	4,786,354	4,244,499	3,820,566	3,042,140	2,986,086	3,174,959	3,544,677
前年比	-11.1	-0.8	-1.0	13.2	-10.2	-0.9	-11.3	-10.0	-20.4	-1.8	6.3	11.6

<ドア>

(枚、前年比%)

` ' ' '											(1)	(H) T PC /0/
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
鋼製重量ドア	_	_	630,028	557,553	623,432	639,514	635,875	493,689	436,415	448,242	449,988	470,919
前年比	_	_	8.0	-11.5	11.8	2.6	-0.6	-22.4	-11.6	2.7	0.4	4.7
鋼製軽量ドア	_	_	894,050	896,529	956,026	971,002	1,003,218	888,996	680,918	618,079	574,528	415,782
前年比	_	_	_	0.3	6.6	1.6	3.3	-11.4	-23.4	-9.2	-7.0	14.5

注)・鋼製軽量ドアは、平成 15 \sim 23 年度までは日本鋼製軽量ドア協議会の集計です。・鋼製重量ドアは鋼製建具を、鋼製軽量ドアは鋼製軽量建具を指します。

[・]鋼製軽量ドアの平成 24 年度前年比は、当協会前年度実績に対する比率です。 ・鋼製重量ドアは、ガスチャンバー、点検口を含みます。

新日鐵住金の高耐食性めっき鋼板



「総合力世界No.1の鉄鋼メーカ-



新日鐵住金

スーパーダイマの詳しいご案内は

お問い合わせ

-パーダイマホームページ URL/

E-mail

薄板営業部 http://www.nssmc.com/product/superdyma/ superdym@jp.nssmc.com



横浜中華街

昨年3月、東急東横線・横浜高速鉄道みなとみらい線と東京メトロ副都心線の相互直通運転が始まり、 埼玉方面からもアクセスしやすくなった『横浜中華街』。毎年、中国のお正月である春節の時期には、爆竹 や太鼓、銅鑼の音が鳴り響く中、中国獅子や龍が舞い踊る華やかなイベントが開催されます。今年も多くの 観光客で賑わい、獅子舞・龍舞・舞踊・雑技の豪華なショーや夜のイルミネーション、本場の中華料理の味 が人々を魅了しました。

さて、中国北部では年越しに餃子を食べる習慣があります。除夕(大晦日)の夜に餃子を作っておき、子の刻(23~1時)にゆでて食べます。古い一年と新しい一年が子の刻に入れ替わるという意の中国語「交子(jiaozi)」が「餃子」と同じ発音であることからきています。日本の年越しそばと似ていますね。

2月14日には「元宵節燈籠祭」(春節の最終日である元宵節に願い事や夢を書き込んだ燈籠を媽祖廟に奉納する厳粛な行事)、3月20日には「媽祖祭」(海の女神、媽祖を奉る盛大な祭)もあります。横浜中華街まで少し足を運んで、もう一度お正月気分を味わってみてはいかがでしょうか。



横浜中華街のメインストリート中華街大通りのJR側に そびえる「善隣門」





横浜中華街の新名所横浜博覧館2F「ベビースターランド」では、ベビースターラーメンの製造過程を見ることができ、できたてのベビ―スターラーメンも食べられる



中国で餃子といったら水餃子。横浜中華街で水餃子といえば「山東(サントン)」。モチモチの皮に包まれたジューシーなあんと、山東特製のココナッツだれが絶妙なハーモニー

JSDA 会報 2014 年・新春号

発 行 日:2014年2月 通巻第41号

発 行 者:一般社団法人 日本シヤッター・ドア協会

〒 102-0073 東京都千代田区九段北 1-2-3 フナトビル 4F

tel.03-3288-1281 (代) /fax.03-3288-1282

URL:http://www.jsd-a.or.jp